

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	太田 公昭	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3389		事務事業名称	読書教育推進事業					短縮コード	経常	3389	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校教育法第 8 5 条、学校図書館法第 4 条第 2 項、第 6 条、子どもの読書活動の推進に関する法律							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
児童生徒の読書活動の充実のために読書感想文コンクール、図書主任研修会の開催、読書指導員の配置を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
新指導要領改訂の柱として「言語活動の充実」が示され、読書教育の充実が一層望まれている。県の読書感想文コンクールへ代表作品を出品し、平成 2 0 年度はそこから 2 作品が全国コンクールでの入賞を果たした。「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、本市でも平成 2 1 年 1 月「八千代市子ども読書活動の取組みについて」が示された。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	02	教育内容の充実						
					細 項 目	01	学習・生徒指導の充実						
03	心の教育の推進												
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小中学校図書主任、小中学校児童生徒及び教員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 各学期に 1 回の図書主任研修会開催。読書感想文集「やちよ」作成。市内全小中学校に読書指導員を配置。							
	※平成21年度に計画していること： 2 0 年度と同様。							
意図 （何を狙っているのか）	図書主任の資質の向上。児童生徒を読書に親しめるとともに、基礎学力の向上を図る。児童生徒の読書活動の充実。教員の読書指導に対する見識を高め、推進を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	各学校図書主任数	人	33	33	33	33	
	指標 2	読書指導員配置校児童生徒数	人	11, 594	16, 283	16, 337	16, 663	
	指標 3	小中学校児童数	人	15, 985	16, 283	16, 337	16, 663	
活動指標	指標 1	参加図書主任数	人	33	33	33	33	
	指標 2	各校図書貸出総数	冊	60, 647	65, 000	157, 873	166, 630	
	指標 3	読書感想文応募総数	点	8, 809	8, 800	8, 828	8, 800	
成果指標	指標 1	参加図書主任数／各学校図書主任数	%	100	100	100	100	
	指標 2	読書感想文応募総数／児童生徒数	%	55. 2	54. 1	54	54	
	指標 3	各学校図書貸出冊数／指導員配置校児童数	冊	5. 3	4	9. 7	10	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3389	事務事業名称	読書教育推進事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			平成２０年４月より、２２名の読書指導員を市内全小中学校３３校に配置している。児童が活用しやすい学校図書館の整備だけでなく、児童への読み聞かせやブックトークによる読書活動の推進、教科指導の中での調べ学習への助言等、大きな成果をあげている。今後、小中学校に各１名の配置（３４名）の配置も含め、さらなる児童、生徒への読書活動の推進が望まれる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			読書教育の一層の充実のため、読書指導員の中学校への専任配置も含め、各校への配置時間の増加を希望するため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
読書教育推進の核となる各校図書主任及び読書指導員等の資質の向上が望まれている。読書の効果が再認識され、学校や図書館における読書教育や読書活動のますますの充実が望まれている。									

所属長コメント	読書教育を推進するための政策、及び社会的ニーズは今後さらに増加していくものと考えられる。一層の読書指導の推進とともに、読書指導員の各校専属配置について推進していきたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			経費の増加を伴うことであり、人的配置について費用対効果を検証し、推進可能なことは順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									